

本展では現存する御迎え人形(大阪天満宮蔵・大阪府指定有形民俗文化財)の一部をはじめ、大阪天満宮が所蔵する天神祭に関する貴重資料を公開します。また、今昔館のコレクションの中から納涼や夏祭りにちなんだ絵画作品などをあわせて展示し、円熟した町人文化のもとで育まれてきた都市祭礼の伝統とその魅力を紹介します。

5 《浪速勝景帖 天神祭》 ごい きんすい
五井金水

明治~昭和初期 (今昔館蔵)

船渡御の一場面を赤と青を中心とした鮮やかな色彩で描いた作品。御迎え船の帆柱の先端に取り付けられた等身大の恵比須人形は完全な姿では現存しておらず、当時の状況を知る手掛かりの一つとなっています。



6 《天神祭図》 ばいさい
酒井樞斎

元治元(1864)年 (今昔館蔵)

大川の川面に数えきれないほどの屋形船が浮かび、橋の上にも人々がひしめき合うように集まっている様子が描かれています。画面右上にある作者本人の賛を要約すると「たまたま鮮魚を得て、酒に酔って寝た。夢に浪華の天満祭を見て、覚めて後に其の趣を写す」という意味になり、作者の記憶の中にあつた天神祭の風景を描いたことが分かります。



INFORMATION

大阪市立住まいのミュージアム
大阪くらしの今昔館

TEL : 06-6242-1170

FAX : 06-6354-8601

<https://www.osaka-angenet.jp/konjyakukan/>

〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20
住まい情報センタービル 8階

休館日 毎週火曜日

開館時間 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

入館料

常設展: 一般: 600円/団体500円

高・大学生: 300円/団体200円 (要学生証原本提示)

企画展: 300円

常設展+企画展セット券:

一般: 800円/団体700円

高・大学生: 500円/団体400円 (要学生証原本提示)

※団体は20人以上 ※中学生以下、障がい者手帳・ミライID等持参者(介護者1名含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明書提示)

アクセス

■Osaka Metro堺筋線・谷町線、

阪急電鉄「天神橋筋六丁目」下車3号出口直結

■JR「天満」下車商店街を北へ650メートル

■阪神高速道路守口線

長柄出口から都島通りを西へ500メートル



おススメ
コレクション

大阪城
天守閣

浪花道頓堀大歌舞伎舞台惣稽古之図 (じゅうこうどう くに)
(寿好堂よし国画)

大阪市内有数の繁華街である道頓堀は、江戸時代も同様の繁栄を見せていました。寛永3年(1626)、芝居の設置が認められたことで、こんにちまで続くにぎわいの幕が開きます。この錦絵は文政5年(1822)頃の作品とされ、上方を拠点とした有名歌舞伎役者がずらりと並ぶ稽古図です。名優中村歌右衛門や女形で著名な嵐小六、現在にも名跡が継がれている片岡仁左衛門らが台本片手に稽古に励んでいます。しかし実はこの稽古は架空のもの。「当代のスーパーstarたちが大集結する演目を一度は道頓堀で見てみたい」そのような願望がこの錦絵を描かせたのかもしれません。

大阪城天守閣 学芸員 加藤 吉弥

※今回紹介した作品は、大阪城天守閣3階企画展示「大坂三郷」に出品されています。(7/21~10/4まで)



住所 〒540-0002 大阪市中央区大阪城1番1号 TEL 06-6941-3044 FAX 06-6941-2197 ホームページ <https://www.osakacastle.net/>
アクセス Osaka Metro「谷町四丁目」1-B・9号出口、「森ノ宮」3-B・1号出口、「大阪ビジネスパーク」1号出口、「天満橋」3号出口

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://museums.ocm.osaka>

大阪歴史博物館

大阪城天守閣

大阪市立自然史博物館

大阪市立美術館

大阪市立東洋陶磁美術館

大阪市文化財協会

大阪市立科学館

天王寺動物園

大阪中之島美術館

大阪くらしの今昔館